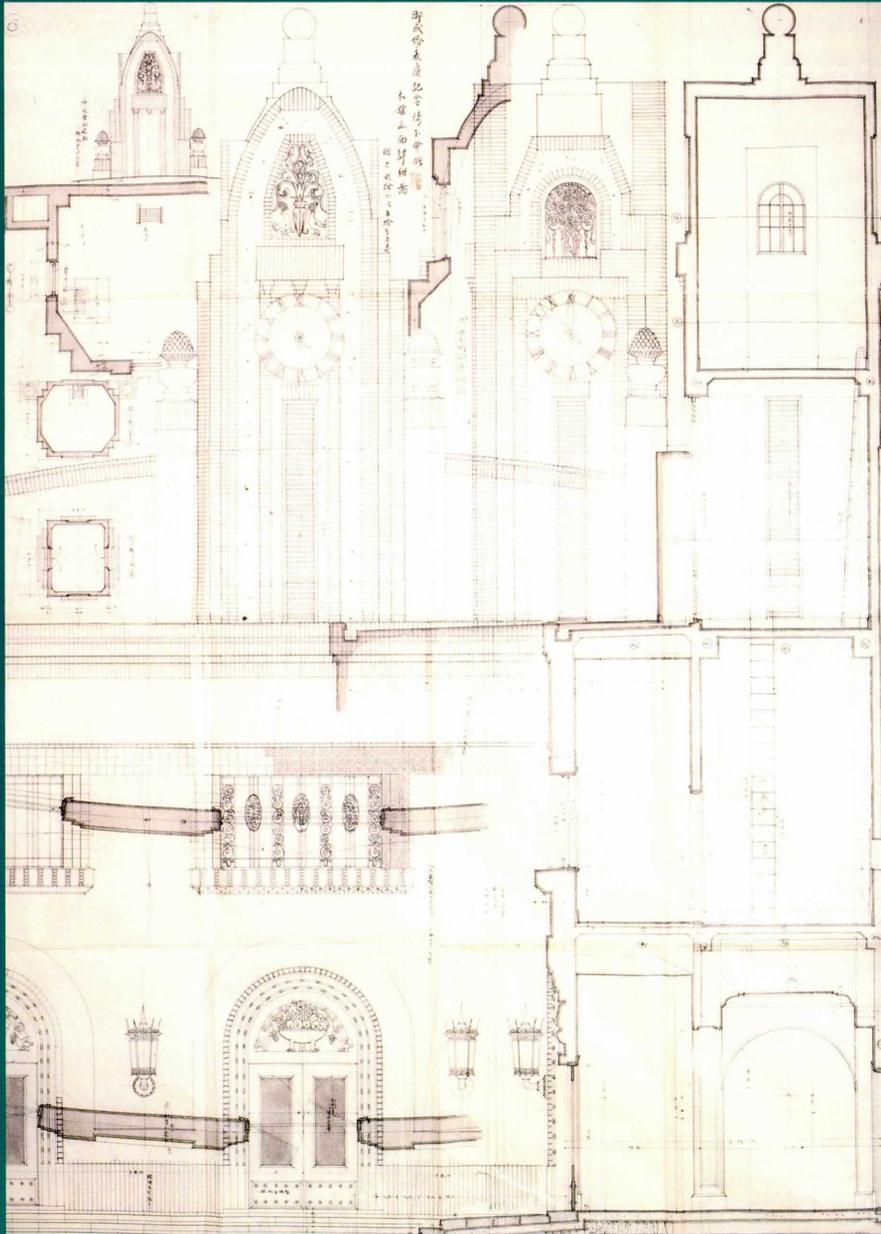


平成6年度 第3回収蔵文書展

近代“彩の国”つくり —拓く・架ける・築く—



1995年1月21日(土)～4月9日(日)

埼玉県立文書館

開催にあたって

現在、埼玉県では、県民一人一人が郷土に誇りと愛着を持つ豊かな「彩の国」づくりを目指し、人と自然に優しい「環境優先・生活重視」「埼玉の新しい92（くに）づくり」を基本理念とする行政を展開しています。様々な施策の中で、特に土木事業は、人間が自然に対して働きかけ、共存しながら、産業・生活の基盤を整備していく、極めて公共性の高いものといえます。

今回の展示は、近代以降、西洋工法の導入により、道路・橋梁・河川・堤防・建築と広範囲にわたり推進されてきた県内の土木事業を、文書を通じて振り返り、土木技術の推移と共に、近代埼玉の基盤づくりの過程と、それに伴う県内各地域の変容や発展の歩みをたどろうとするものです。

当館では昭和44年(1969)に開館以来、「郷土についての歴史的価値のある文書及び記録並びに県の公文書その他必要な資料」の収集・保存を図りながら、これらを整理し利用に供してまいりました。中でも、行政の執行過程で作成・収受され、保存されてきた明治以降の膨大な埼玉県行政文書は、近代埼玉の歴史を研究する上では最も基本的な資料といえるものです。

彩り豊かな手書きの図面などが数多く含まれた明治・大正期の土木関係行政文書を通して、「近代“彩の国”づくり」の一端に触れていただければ幸いです。なお、鉄道及び用水関係については既に収蔵展で取りあげているため、今回は割愛いたしました。

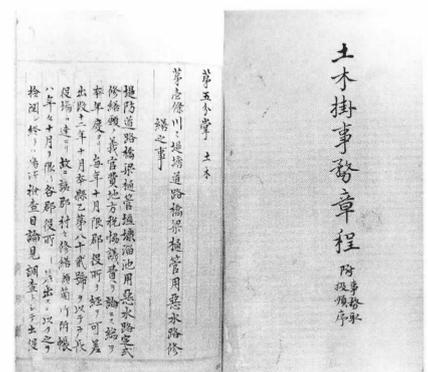
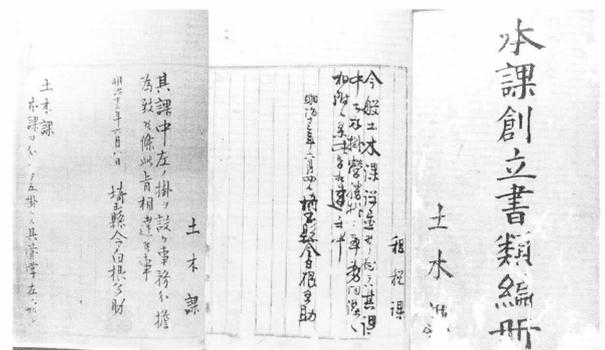
最後に、この文書展を開催するにあたり、貴重な文書を提供してくださいました寄贈・寄託者の方々に深く感謝申し上げます。

平成7年1月

埼玉県立文書館長

0 土木課の創設

明治4年(1871)7月に行なわれた廃藩置県当初から、県の土木事務は租税課内で担当していましたが、明治13年6月に土木課が独立し、土木行政に一段と力が注がれるようになりました。事務分掌をみると、当時の土木行政の具体的な内容を知ることができます。



No. 1 土木課創設二関スル書類 明1707
設置時の分掌事務や前担当課との引継書類などがまとめられています。

No. 1

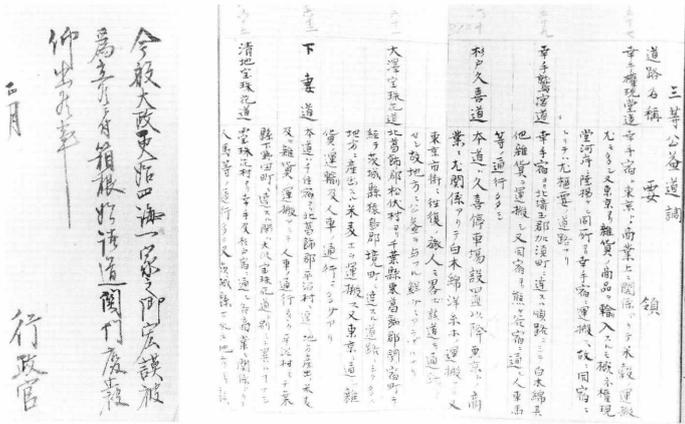
1 道を拓く

江戸時代、街道に設けられていた関所や木戸は、明治2年(1869)の太政官達により廃され、道路は人や物資が自由に通行できるようになりました。しかし、中仙道・奥羽街道をはじめ、県内のほとんどの道路は幅も狭く荒廃しており、改良が必要でした。明治11年の地方税規則により道路修理にも地方税が充てられましたが、国道が優先され、県道や里道の改良はなかなか進みませんでした。

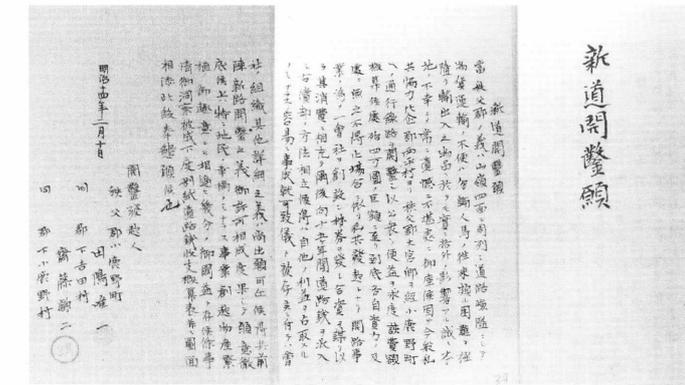
明治16年に高崎線、18年に東北線が開通すると、物資の輸送のため、停車場を起点とする道路整備が必要となりました。地元住民の請願運動も活発となり、秩父新道の開削をはじめ、久喜～幸手道、鴻巣～松山道、熊谷～秩父道、浦和～所沢道、大宮～川越道、岩槻～幸手道など次々と道が拓かれていきました。

地方産業の発展が著しい明治30年代には舟運に代わる道路輸送の重要性はますます高まり、本県の土木事業の重点は、河川から道路へと移っていきます。明治33年の土地収容法の公布が拍車をかけ、増加する県費負担道路の総延長は、大正5年(1916)には全国第3位にまでなりました。

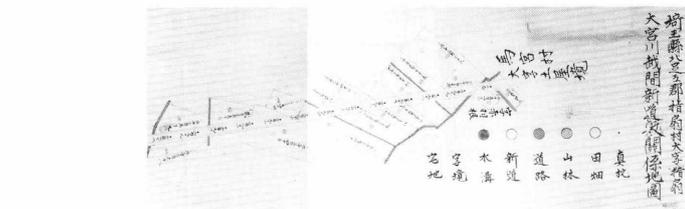
大正9年、道路法と道路構造令が公布され、近代的な道路整備の気運が高まりますが、普及し始めた自動車やバスに対応する本格的な整備は、昭和を待つこととなります。



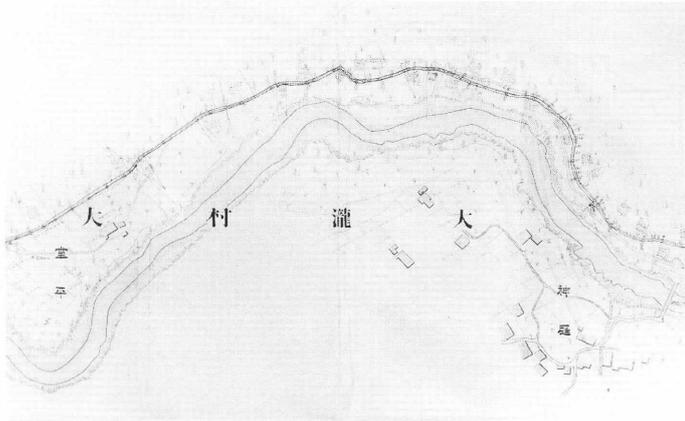
No. 2 No. 6



No. 9



No. 14



No. 23

- No. 2 諸道関門廃止の布告 明9
明治2年に出されたこの布告により、関所や木戸は廃され、道路は自由に通行できるようになりました。
- No. 6 公益道路調 明1760
各道路を等級別に調査し、幅員、沿道の様子、運搬物資などを詳しく記載しています。
- No. 9 道路改良二付願(秩父新道) 明治1732
児玉・秩父両郡の24町村の総代連名で県に提出されたものです。明治16年6月に内務省から認可された工事は、秩父・児玉両郡民の大きな犠牲により、4年後の明治19年に完成しました。
- No. 14 大宮川越間新道関係地図 明1588
新道を作るために、民間の土地を買収した文書の付属図面です。
- No. 23 秩父三峰線道路改築工事 大1539
道路工事の図面は、平面図と断面図からなっていますが、詳細に書かれた平面図は、当時の地域や地形を表現している貴重な資料といえます。

2 橋を架ける

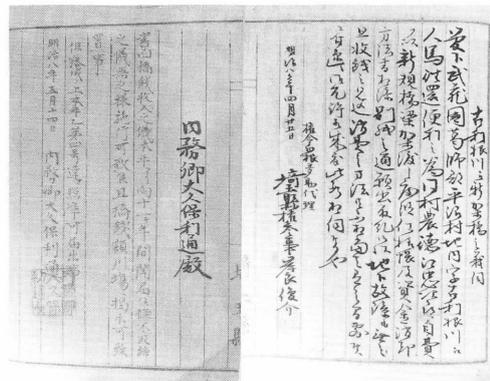
江戸幕府は原則として大きな河川に橋を架けることを禁止していたため、近代になると河川は陸上交通の大きな障害となりました。明治4年(1871)政府は「治水修路之儀」により、有志による賃取橋の架設を認めました。これを受け、「戸田橋」「徳江橋」「八幡橋」などをはじめ民間の賃取橋が次々と架けられていきます。明治から大正にかけては、国・県道でも河川の部分は、橋梁や渡船、船橋などを私人が許可を受けて有料で経営していくことが一般的でした。

鉄道が開設されると停車場を起点とする道路の整備が進み、県が施行する架橋工事も増えていきます。薄い和紙に精密に描かれた手書き彩色設計図面に、形式からは桁橋・アーチ橋・トラス橋・吊橋、材質からは、木橋・土橋・コンクリート橋・鉄橋など、様々な橋梁工法の変遷をみることができます。

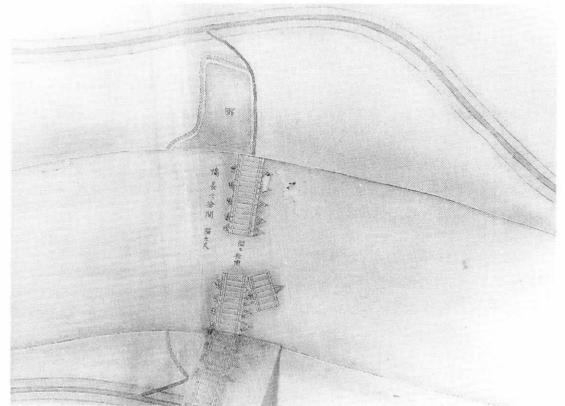
県境の河川は大正期に入っても大部分は渡船や仮橋のままでした。利根川や荒川が国の直轄工事により改修されるのに伴い、その架橋が懸案となりましたが、財政上の問題と、位置や工法など他県との調整は難航し、神流川の上武橋、利根川の妻沼大橋・昭和橋・利根川橋、荒川の新荒川橋・戸田橋・荒川大橋などの工事の多くは昭和初期に竣工することになります。また、賃取橋については、大正期後半に県が買い取る形で整理され、無料化が進められていきました。



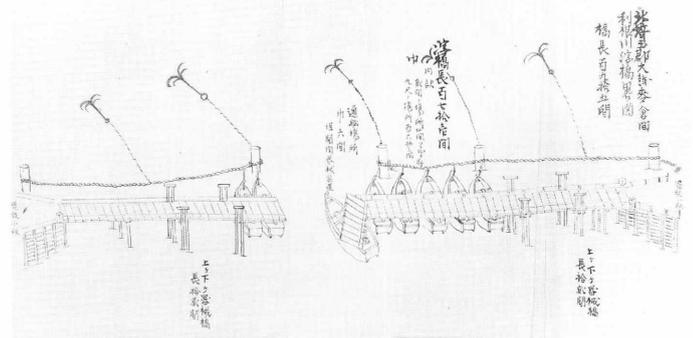
No.29



No.31

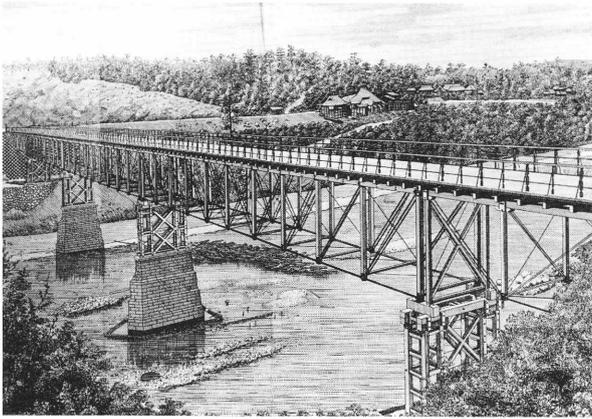


No.35

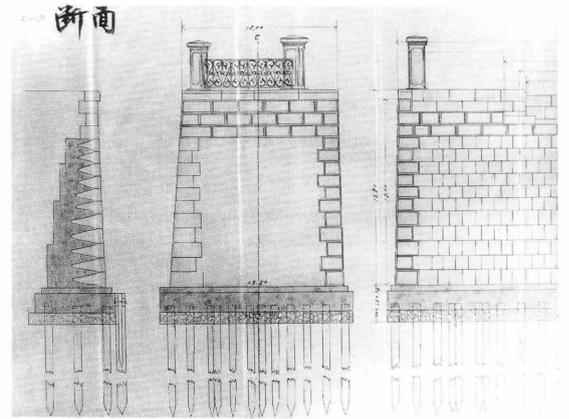


No.38

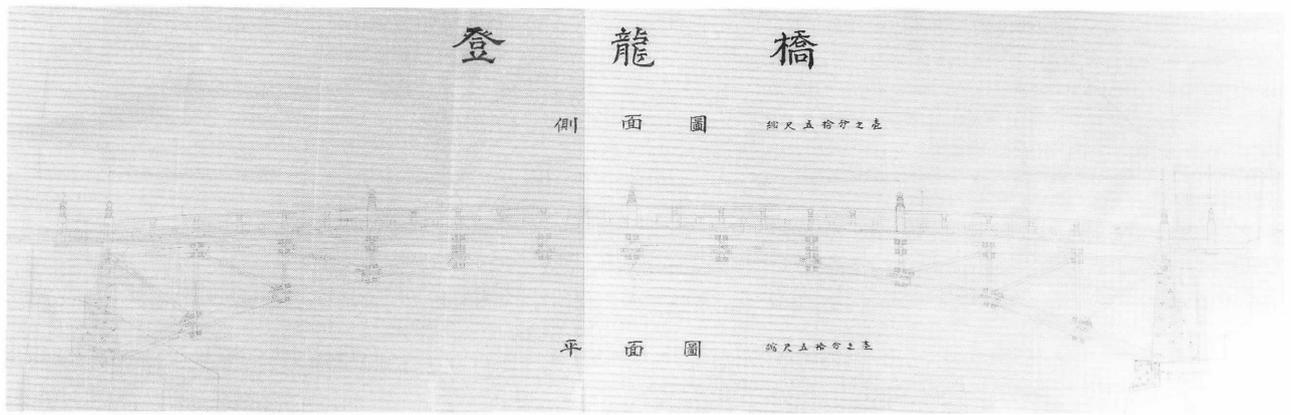
- No.29 中山道荒川江新架橋之儀ニ付上申 明1708
- No.31 古利根川江新架橋之義伺(徳江橋)明1710
明治初期の賃取橋架橋の文書が多数残っています。
- No.35 浮橋架設之義ニ付伺(北埼玉郡向古河村)明1720
- No.38 利根川浮橋架設願(北埼玉郡大越村) 明1751
並べた船に板を敷いた船橋は、近代の賃取橋としても多く設置されました。
- No.44 秩父橋 高野(周)家76
明治19年に完成した秩父新道のトラス橋。事業報告書に載った版画です。現在も土台が残っています。
- No.53 橋梁工事設計書(川越越生道高沢橋)明2841
煉瓦製の橋、鉄製の高欄がついています。
- No.57 橋梁工事設計書(大滝村地内登龍橋)大427
木製アーチ型の橋で擬宝珠の欄干がついています。
- No.59 橋梁工事設計書(白鳥村地内大滝橋)大672
木製の吊橋で白鳥橋と呼ばれました。
- No.64 橋梁工事設計書(玉川村地内玉川橋)大1194
鋼鉄製アーチ橋、永久橋が次第に増えていきます。



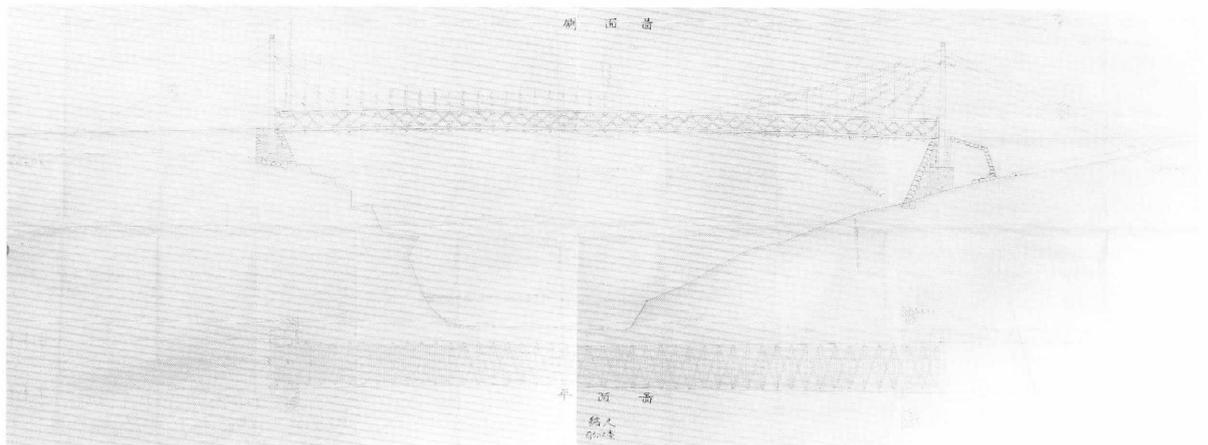
No.44



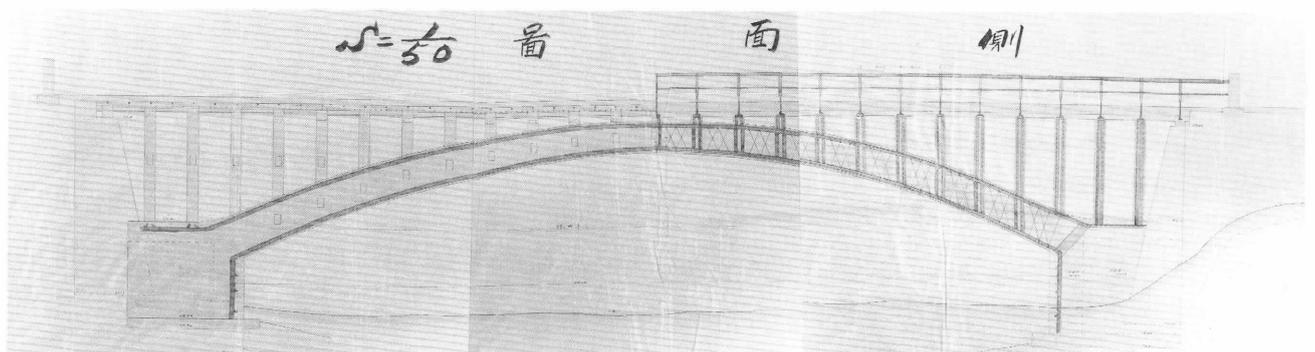
No.53



No.57

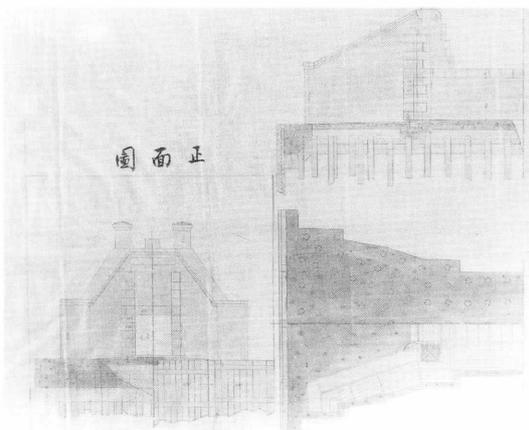


No.59

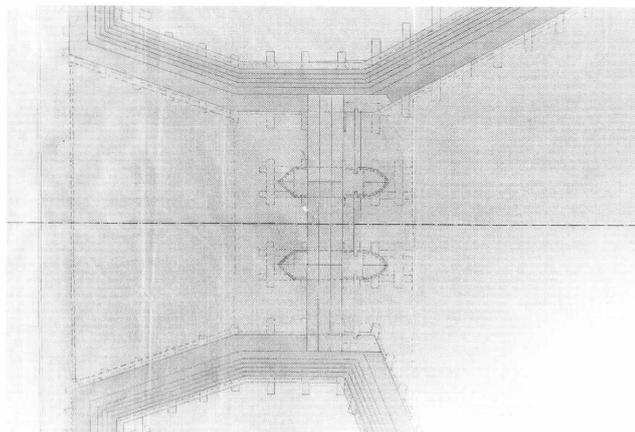


No.64

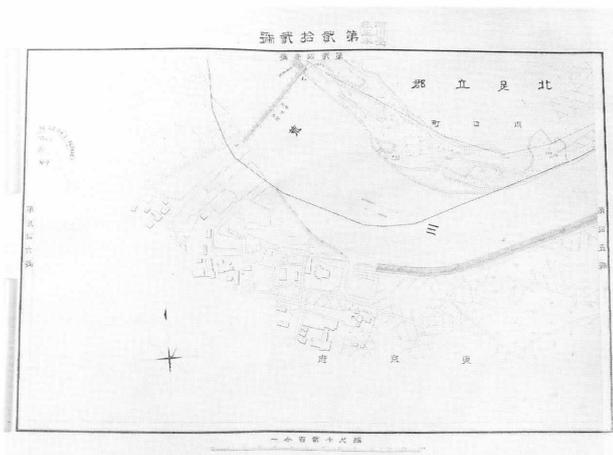
3 堤防を築く



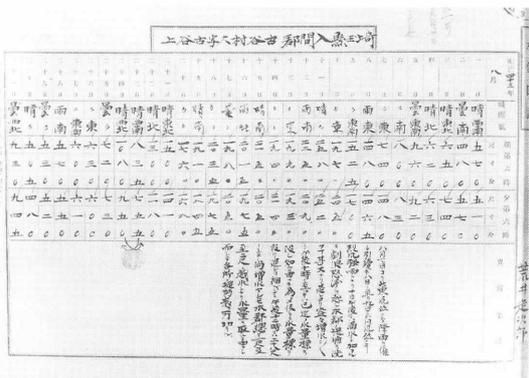
No.97



No.101



No.113



No.119

利根川、荒川が流れる本県にとって、治水は江戸時代から土木事業の最も重要な課題でした。

県の河川工事は、明治20年代までは、水路を浚渫し舟運と灌漑の便を図る低水工事が中心でした。明治29年(1896)、河川法が制定されると、利根川・荒川は国の直轄河川となり、河川改修の目的は洪水防止のための高水工事へと転換していきます。明治42年から利根川の第三期工事として本県区間が、また、明治44年に川口町以下の荒川第一期改修工事が着手されました。さらに、大正7年度に着手された国の荒川改修第二期工事は、大震災及び戦争により工事が遅延し、昭和29年度に完了しました。

幹線河川に比べて、中小河川や用悪水路の改修は停滞し、耕地整理事業の障害にもなっていたため、県は、13河川(大落古利根川・元荒川とその支流・綾瀬川・福川・芝川・新河岸川)の改修を策定しました。この事業は大正7年(1918)から昭和12年(1937)まで継続され、大きな成果をあげていきます。

No.68 赤堀川切開ノ件 明1696

No.69 新赤堀川疏鑿諸県藩受持場分部略図 明1709
 廃藩置県の中で多くの藩県が工事にあたりました。

No.71 権現川堂通堤塘新築模様書之儀伺 明1712
 現幸手市に全額民費で完成された堤です。明治天皇が巡幸の際立寄ったので、行幸堤の名で知られます。

No.77 工師ムルドル氏閘門狭路ニ対スル報告書 明1811
 オランダ人ムルドルは内務省の御雇外国人。この文書は利根運河に関する報告書です。

No.78 赤尾村吹塚村堤塘移築工事竣工祝歌 明1731
 竣工を祝って住民が詠んだ和歌。県土木課の担当技手加々美輝信氏への感謝が述べられています。

No.83 利根川通旭村大字山王堂河岸工事 明2545

No.89 堤塘簡易水防図(忍工区) 高野(周)家88
 俵などを使った堤防の簡単な水防工事の絵図資料。近世以来の方法が描かれています。

No.97 菖蒲町地内黒沼笠原樋管改修工事 明2534

No.101 元荒川通吹上村榎戸堰工事 明2496
 樋管や堰は木製から煉瓦製へと改良工事が進められました。煉瓦の部分はピンクに着色されています。

No.113 北足立郡河川台帳正本 第貳拾貳号 A 2003
 詳細に描かれた河川台帳の付図。当館4階地図閲覧室で見ることができます。上部に船橋が見えます。

No.119 水位日表 古谷村(明治43年8月) 明2727
 河川毎に水量看守人が置かれ、毎日の水位が観測されていました。明治43年8月の大洪水時のものです。

第十六號

三府ヲ始人民編法ノ地ニシテ古來ノ勝蹟名人ノ舊跡等モ是迄建築遊覽ノ場所ニ於テハ金龍山遊覽寺觀音山遊覽寺等處地内ノ舊跡類ノ於テハ從前高外餘地ニ屬セル分ハ亦テ萬人僱樂ノ地トシ公園ノ可被相定ニ付府縣ニ於テ右地所ヲ擇ヒ其境況巨細取調圖面相添大藏官ニ可何出申

明治六年二月十五日

太政官

No.125

三月廿九日

武内河津江境白備案圖ト申送候
内務省
中田 寛
情知控申の儀等切

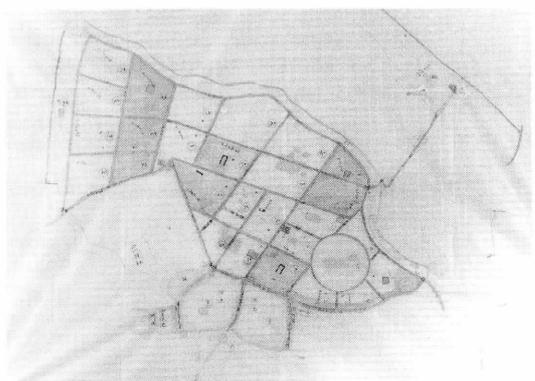
No.126

備案圖
武内河津江境白備案圖ト申送候
内務省
中田 寛
情知控申の儀等切

在野左社内社訂製土地圖紙並案
在野左社内社訂製土地圖紙並案
在野左社内社訂製土地圖紙並案

No.127

在野左社内社訂製土地圖紙並案
在野左社内社訂製土地圖紙並案
在野左社内社訂製土地圖紙並案



No.132



No.131



No.133

明治6年(1873)、政府はお雇い外国人の勧めもあり、全国に公園設置を指示しました。これを受けて、翌7年調神社(現浦和市)に県内第一号の浦和公園が誕生しました。以後、旧忍城内に成田公園(現行田市)、与野町の天祖神社内に与野公園(現与野市)が地元有志の寄付で開設されます。

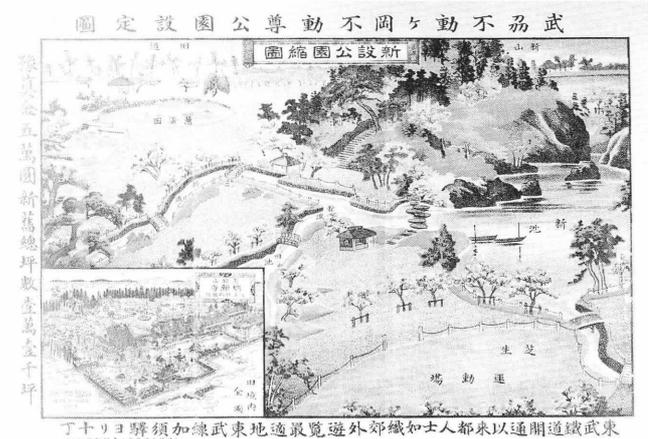
明治13年には、大宮宿の氷川神社境内の官有地に桜や紅葉が植えられ小路が付けられました。その後、東北線の大宮駅の開設運動と共に、公園設置の動きが活発化し、明治17年、請願に対して内務省から許可が下り、氷川公園が誕生しました。面積は、県内最大の三万五千坪(115,500㎡)、休息所として含翠亭が建てられ明治18年9月には開園式が行われました。また秩父神社境内にも公園が開設されていきます。

氷川公園は明治31年に町から県に管理が移り、県立公園として整備されていきますが、本格的な拡張や総合公園化は昭和になって行われました。東京の近郊ということで多くの文人も訪れています。



No.135

- No.125 太政官布告 第16号 明61の1
日本の公園の歴史は、明治6年1月15日、太政官から各府県あてに出された布告に始ります。
- No.126 調神社境内借楽園ト定ル件達 明1532
- No.127 官弊大社氷川社引裂上地公園ト被定度伺 明1532
大宮宿外10村の総代人からの請願を受け、県は内務省農商務両省に伺いを提出しました。
- No.131 調神社境内全図(浦和公園)明2372
調神社の銅版画、浦和公園も描かれています。
- No.132 氷川公園図面 明2133
明治31年4月から氷川公園は県が直接管理することになり、本図はその引継書類の一部です。
- No.133 埼玉県大宮氷川公園案内 明2133
公園の紹介と共に、学生生徒の汽車賃割引規定まで掲載し、県下の師範学校・中学校などをはじめ、東京市内の中学校等にも配布されました。
- No.135 埼玉県氷川公園改良計画図 大1619
東京帝国大学農学部の本田静六博士に依頼し作成されました。その後、若干修正が加えられましたが、現在の大宮公園の基本構想となっています。
- No.137 武州不動ヶ岡不動尊公園設定図 大1225
内務省からの公園私園調査に対し、北埼玉郡長から県への回答です。"未夕公園ナル手續セザルニ付、私園ナリ"としながら、不動尊参拝者を併せ最近一ヶ年の見積りで約50万人の入園者と報告しています。



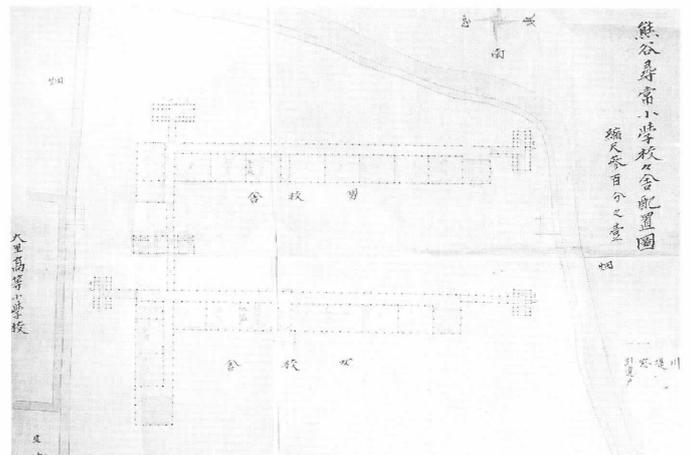
No.137

5 近代建築点描

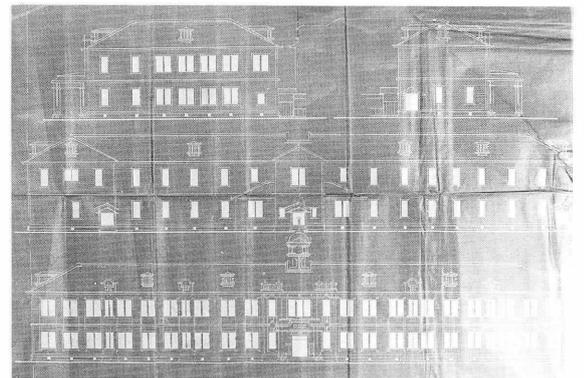
土木関係文書中、営繕の文書には、県庁舎・郡庁舎・警察庁舎・県立学校・県有建物等の工事がまとめられています。その中から当時の建築様式を概観できる設計図を展示しました。明治期の手彩色の図面は、大正期になると、青焼き図面へと切り替わっていきます。

また、大正15年(1926)に皇太子御成婚記念として落成した旧埼玉会館の設計図面は、設計者である岡田真一郎氏宅より埼玉会館を通じて当館に寄贈されたものです。基本設計から詳細な内部装飾までの図面が多数残されており、その斬新な様式とモダンなデザインは、埼玉県の近代建築における彩華ともいえるものです。

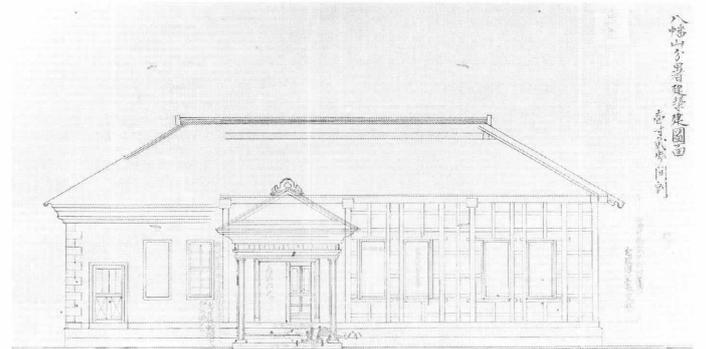
- No.142 熊谷尋常小学校校舎配置図 明3298**
男校舎・女校舎に棟が分かれ、教員室も男女別になっていました。
- No.144 埼玉県立松山中学校新築工事設計図 大1321**
大正時代の代表的な旧制中学建築。屋根にはドームやペディメントを持つ塔屋が載っています。
- No.149 児玉郡八幡山警察分署建築建図面 明1727**
八幡山町(現児玉町)にあった本庄警察署の分署。和洋折衷の木造平屋建で西洋門がついています。
- No.150 北足立新座郡役所新築建差図 明612**
明治11年(1878)の郡区町村編制法により設置された9郡役所の1つで、足立郡浦和宿に置かれました。
- No.155 埼玉県会議事堂設計図 大5825**
大正2年に竣工したルネッサンス式に新式を加味した二階建築です。議場への光線は屋根中央の塔から採っています。
- No.159 埼玉会館本館設計図正面図 埼玉会館移籍 4**
建物正面中央に抛物線形の時計塔を設けたモダンなデザインです。
- No.161 埼玉会館本館設計図(縦断面図演壇正面図) 埼玉会館移籍 6**
ドイツのバイロイト劇場を模したといわれる1500人収容の大集会室は、どの座席からも等視等聴できる設計です。
- No.170 埼玉県測候所新築設計図 明2431**
気象観測により農作物の気象災害による被害を防ぐため、明治29年に設置。昭和14年(1939)に国に移管されました。屋上に観測塔が設けられています。
- No.171 埼玉県監獄署敷地建造物平面図 明2161**
監獄事務が県から司法省に移された際の引継書類の添付図面です。獄舎は、十字型獄舎と称せられる構造で、中央から見渡せるようになっていきます。ほかに、工場・事務室・教誨堂などが設けられていました。



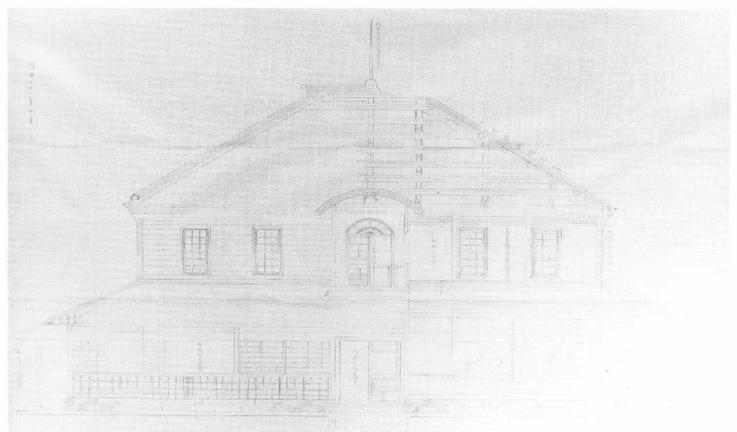
No.142



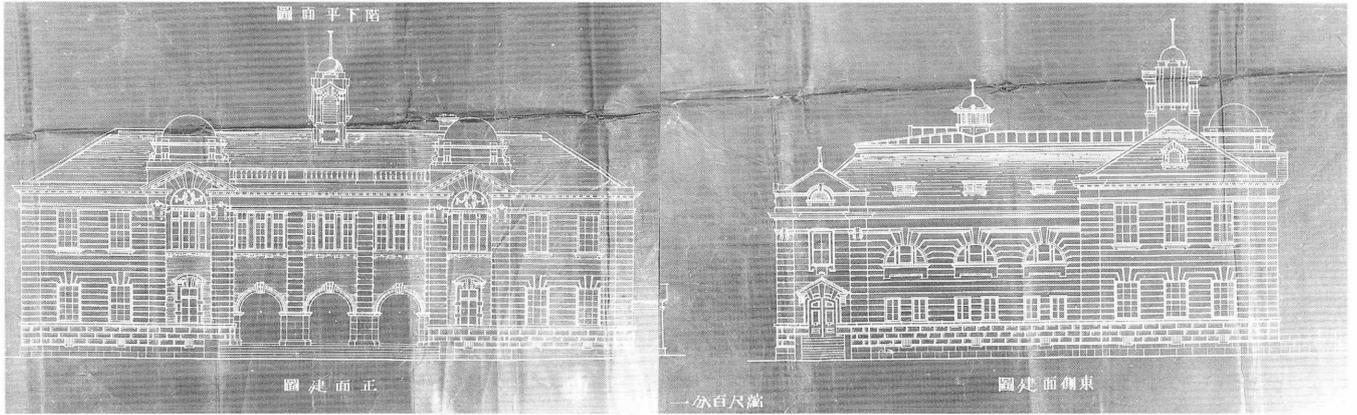
No.144



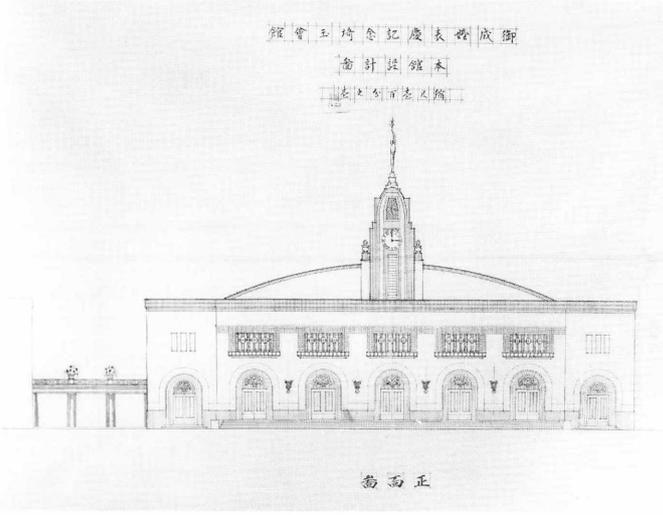
No.149



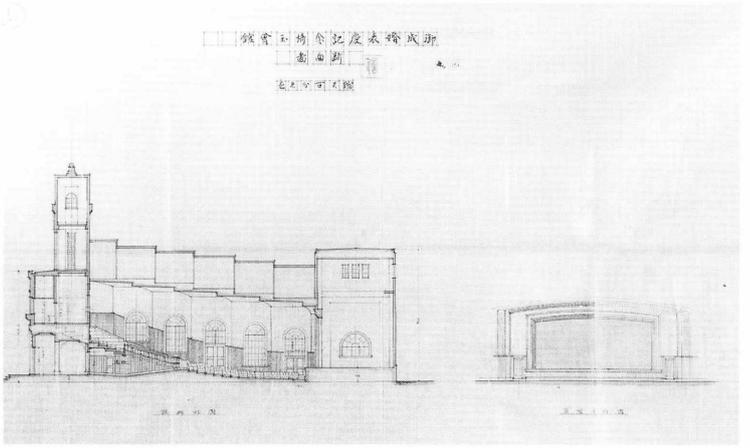
No.150



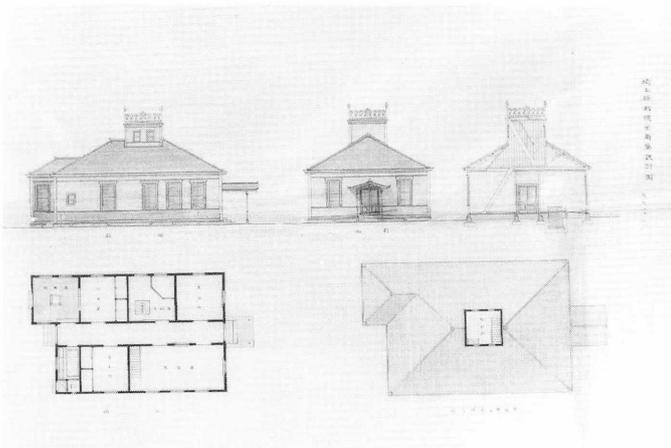
No.155



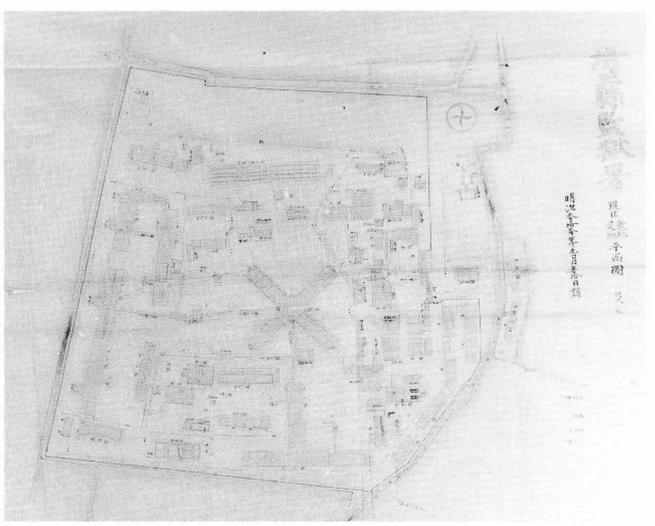
No.159



No.161



No.170



No.171

展示文書目録

番号	年号 (西暦)	文 書 名	現市町村名	文 書 番 号
0 土木課の創設				
1	明治13. 6 (1880)	土木課創設ニ関スル書類		行政文書明1707-28
1 道を拓く				
< 道路行政 >				
2	明治 2. 1 (1869)	諸道関門廃止の布告		行政文書明9
3	" 6. 1 (1873)	道路の幅員に関する布達		" 明89-6
4	" 10.10 (1877)	国道等分類取調書		" 明1719-1
5	" 11. 7 (1878)	道路宿駅里程図		" 明1711-4
6	" 21 (1888)	公益道路調		" 明1760
< 道路工事 >				
7	明治 8. 6 (1875)	道路修繕之義ニ付再伺(陸羽中山両街道)		行政文書明1701-63
8	" 11. 9 (1878)	秩父郡下日野沢村新道切開願	皆野町	" 明1709-19
9	" 16. 2 (1883)	道路改良ニ付願(秩父新道)	本庄市～秩父市	" 明1732-20
10	" 19. 4 (1886)	埼玉県児玉秩父両郡新道事業報告書	"	高野(周)家 76
11	" 21.12 (1888)	鴻巣松山間新道図面	鴻巣市～東松山市	行政文書明1764-12
12	" 23. 5 (1890)	熊谷妻沼道改良図面	熊谷市～妻沼町	" 明1721-45
13	" 26.10 (1893)	秩父大宮町飯能間道路開鑿請願書類	秩父市～飯能市	" 明1767-1
14	" 27.10 (1894)	大宮川越間新道関係地図	大宮市	" 明1588-11
15	" 28. 9 (1895)	仮定県道大宮郷東京道高麗郡水富村地内路線変更図	狭山市	" 明1721-69
16	" 42.12 (1909)	熊谷大宮道国神村地内道路改築工事設計予算書	皆野町	" 明2550-14
17	" 42.11 (1909)	吹上寄居道御正村地内道改築工事	江南町	" 明2555-739
18	" 43 (1910)	秩父郡白鳥村里道道路改築工事設計書	長瀬町	" 明2728-2
19	" 44 (1911)	中川浦山道改築道路工事図面	荒川村	" 明2973-61
20	大正元. 9 (1912)	飯能名栗道秩父郡名栗村地内道路改築工事	名栗村	" 大64-140
21	" 4 (1915)	熊谷大宮道秩父郡樋口村地内破崩道路改修工事	長瀬町	" 大261-1
22	" 9.12 (1920)	秩父郡大宮大滝道道路改築工事	大滝村	" 大1090-8
23	" 11. 8 (1922)	秩父三峰線道路改築工事	"	" 大1539-5
24	" 15.11 (1926)	東京府一号国道改修工事概要		高野(周)家 77
2 橋を架ける				
< 貸取橋 >				
25	明治 6. 5 (1873)	戸田橋略図	戸田市	行政文書明1708-3
26	" 6. 5 (1873)	橋梁絵図(戸田橋)	"	" 明1708-7
27	" 6.12 (1873)	中山道荒川釣橋渡ノ儀ニ付東京府ヨリ回答(戸田橋)	"	" 明1708-18
28	" 7. 1 (1874)	戸田川架橋ニ付東京府へ協議ノ件復命	"	" 明1708-20
29	" 7. 2 (1874)	中山道荒川江新架橋之儀ニ付上申	"	" 明1708-32
30	" 7.11 (1874)	戸田橋略図	"	" 明1708-3
31	" 8. 4 (1875)	古利根川江新架橋之義伺(徳江橋)	吉川町	" 明1710-1
32	" 8. 5 (1875)	橋銭揭示之儀伺(戸田橋)	戸田市	" 明1708-132
33	" 8.10 (1875)	古利根川通橋梁架渡(八幡橋)	春日部市	" 明1713-6
34	大正 8.10 (1875)	統計材料調査ノ件内務省土木局長へ回答(貸取橋一覽表)	"	" 大1119-1
< 船 橋 >				
35	明治13.10 (1880)	浮橋架設之義ニ付伺(北埼玉郡向古河村)	北川辺町	行政文書明1720-8
36	" 16. 1 (1883)	北足立郡平方村地内荒川通船橋架設之儀御伺	上尾市	" 明1910-1
37	" 17. 2 (1884)	幡羅郡妻沼村地内利根川筋船橋架設絵図	妻沼町	" 明1546-16
38	" 19. 3 (1886)	利根川浮橋架設願(北埼玉郡大越村)	加須市	" 明1751-2
39	" 25.11 (1892)	利根川通中瀬村地先船橋継年期御付与願	深谷市	" 明1736-15
40	" 26. 8 (1893)	渡橋開設願(入間郡古谷村地先上江橋)	川越市	" 明1909-1
41	" 33. 8 (1900)	群馬県知事ヨリ佐波郡八斗島村架橋ニ付照会	本庄市	" 明2491-16
42	" 33.12 (1900)	賃銭収入渡船橋梁設置願(川辺村大字柏戸地内)	北川辺町	" 明2491-15
43	大正 9 (1920)	北埼玉郡川辺村地先船橋架設工事設計書	"	" 大1092-15
< 橋梁工事(形式) >				
44	明治19. 4 (1886)	埼玉県児玉秩父両郡新道事業報告書(秩父橋：トラス橋)	秩父市	高野(周)家 76
45	" 23. 4 (1890)	町費支弁ニ関スル橋梁新設願(飯能町岩根橋：桁橋)	飯能市	行政文書明1720-2
46	" 33.10 (1900)	荒川架橋変更願(上江橋：桁橋)	川越市	" 明2491-7
47	" 44. 5 (1911)	橋梁工事設計書(岩槻幸手元荒川架橋渡辻大橋：桁橋)	岩槻市	" 明2950-200

番号	年号(西暦)	文書名	現市町村名	文書番号
48	明治44. 6 (1911)	橋梁工事設計書(秩父郡吾野村地内吾野橋:トラス橋)	飯能市	行政文書明2744-315
49	" 45. 3 (1912)	" (野上鬼石道神流川架橋渡上武橋:桁橋)	神泉村	" 明2751-430
50	" 45. 4 (1912)	" (大宮野上道皆野村国神村親鼻橋:トラス橋)	皆野町	" 明2748-350
51	" 45. 7 (1912)	" (鴻巣松山道松山地内市野川橋:トラス橋)	東松山市	" 大61-13
52	"	" (大宮大滝道迂回路秩父郡中川村吊橋:吊橋)	荒川村	高野(周)家 26
53	大正元.10 (1912)	" (川越越生道高沢橋:バウストラング橋)	川越市	行政文書明2841-327
54	" 元.12 (1912)	" (熊谷大宮道大宮町尾田蔭村秩父橋:トラス橋)	秩父市	" 大78-168
55	" 2 (1913)	" (大宮野上道秩父郡原谷村下川橋:桁橋)	"	高野(周)家 30
56	" 3. 5 (1914)	" (大宮大滝道秩父郡中川村地内常磐橋:トラス橋)	荒川村	行政文書大304-201
57	" 3. 9 (1914)	" (秩父郡大滝村地内登龍橋:アーチ橋)	大滝村	" 大427-3
58	" 3.12 (1914)	" (鴻巣松山道馬松村東松村入会御成橋:アーチ橋)	鴻巣市	" 大604-38
59	" 3 (1914)	" (寄居皆野間里道秩父郡白鳥村地内大滝橋:吊橋)	長瀨町	" 大672-126
60	" 3 (1914)	" (秩父郡大滝村神庭橋:トラス橋)	大滝村	高野(周)家 18
61	" 4. 1 (1915)	" (幡羅郡中瀬道大里郡明戸村地内新井橋:ラーメン橋)	深谷市	行政文書大490-835
62	" 4.12 (1915)	" (熊谷川越道荒川架渡荒川大橋:トラス橋)	熊谷市	" 大1001-2
63	" 4 (1915)	" (秩父郡原谷村地内横瀬川架渡小川橋:吊橋)	秩父市	高野(周)家 52
64	" 9 (1920)	" (小川坂戸線玉川村地内玉川橋:アーチ橋)	玉川村	行政文書大1194-21
65	" 10. 1 (1921)	" (忍妻沼線星宮村愛染橋:桁橋)	行田市	" 大1191-7
66	" 10 (1921)	" (比企郡玉川地内玉川橋:アーチ橋)	玉川村	" 大1186-53
67	明治~昭和	橋梁台帳		" 31730~31748
3 堤防を築く				
<河川・堤防工事>				
68	明治 4. 8 (1871)	赤堀川切開ノ件	栗橋町	行政文書明1696-18
69	" 4. 7 (1871)	新赤堀川疏鑿諸県藩受持場分部略図	"	" 明1709-37
70	" 5. 7 (1872)	荒川筋治水築堤ノ義大蔵省へ上申指令	"	" 明1701-15
71	" 8. 5 (1875)	権現堂川通堤塘新築模様書之儀伺	幸手市	" 明1712-1
72	" 10. 1 (1877)	行幸堤記(草稿)	"	" 明1712-54
73	" 17. 6 (1884)	幡羅郡水防請願書	"	" 明1714-19
74	" 18. 1 (1885)	堤防川除修築願(児玉郡見馴川通高柳村)	児玉町	" 明1735-3
75	" 18. 2 (1885)	利根川筋田中村地先川除工事土木局へ照会	本庄市	" 明1745-7
76	" 19.10 (1886)	川筋竹木伐採之儀ニ付哀願(内間木村・下内間木村)	朝霞市	" 明1735-5
77	" 21. 5 (1888)	工師ムルドル氏閘門狹路ニ対スル報告書(利根運河)	"	" 明1811-2
78	" 21. 9 (1888)	越辺川通赤尾村・吹塚村堤塘移築工事竣工祝歌	坂戸市・川島町	" 明1731-6
79	" 25. 8 (1892)	荒川急破修繕工事(大里郡熊谷町大麻生村入会)	熊谷市	" 明1735-39
80	" 25.11 (1892)	利根川通賀美郡神保原村改修工事ノ件	上里町	" 明1735-58
81	" 28.11 (1895)	江戸川通豊岡村大字中関宿中島入会築堤工事復申	幸手市	" 明1794-86
82	" 36. 3 (1903)	児玉郡神流川通丹生村河岸工事	神川町	" 明2507-2
83	" 41. 2 (1908)	利根川通旭村大字王堂河岸工事	本庄市	" 明2545-26
84	" 44. 2 (1911)	荒川通大麻生村大字大麻生地先河岸工事	熊谷市	" 明2786-901
85	" 44. 9 (1911)	荒川通御正村大字押切地先河岸工事	江南町	" 明2787-908
86	" 45. 6 (1912)	綾瀬川通出羽村戸塚村地内浚渫工事	越谷市	" 大88-13
87	大正 7. 3 (1918)	小山川通大里郡明戸村新会村入会河川改修工事	深谷市	" 大1088-6
88	" 14.11 (1925)	渡良瀬川改修工事概要		高野(周)家 80-1
89		堤塘簡易水防図(忍工区)		" 88
<砂防工事>				
90	大正 6 (1917)	秩父郡大柵村大字大野地内砂防工事	都幾川村	行政文書大1086-2
<樋管・堰枠工事>				
91	明治34.10 (1901)	荒川通南平柳村地内樋管工事	川口市	行政文書明2493-17
92	" 35.12 (1902)	比企郡出丸村高木樋管発掘復命書	川島町	" 明2496-6
93	" 36.10 (1903)	荒川通北足立郡田間宮村樋管工事	浦和市	" 明2505-3
94	" 37. 4 (1904)	権現堂川通改良煉瓦樋管工事	幸手市	" 明2506-18
95	" 40. 2 (1907)	北足立郡馬宮村水路・樋管工事	大宮市	" 明2527-17
96	" 40. 6 (1907)	北埼玉郡川俣村地内北方用水掛渡樋工事	羽生市	" 明2538-16
97	" 40. 7 (1907)	南埼玉郡菖蒲町地内黒沼笠原樋管改修工事	菖蒲町	" 明2534-20
98	" 41. 6 (1908)	荒川通左岸宇柏原悪水路モルタル円管工事	桶川市	" 明2539-3
99	" 27.17 (1894)	利根川運河水堰設計図	"	" 明1811-17
100	" 33.10 (1900)	大場川通戸ヶ崎村地内堰枠移設工事	三郷市	" 明2493-11
101	" 36.10 (1903)	元荒川通吹上村榎戸堰工事	吹上市	" 明2496-3

番号	年号 (西暦)	文 書 名	現市町村名	文 書 番 号
102	明治42. 3 (1909)	南埼玉郡清久村地内古筑田堰榊工事	久喜市	行政文書明2538-18
103	" 44. 7 (1911)	樋川通北河原村改良堰榊工事	行田市	" 明2929-8
<河川調査・河川台帳>				
104	明治18 (1885)	横見郡及比企郡内川島領堤塘切所詳細図		行政文書明1722-50
105	" 26 (1893)	荒川流域河川調査書 1～3		" 39957～39959
106	" 26 (1893)	中川流域河川調査書 1～3		" 39960～39962
107	" 27. 7 (1894)	南埼玉郡内大落古利根川流域及元荒川流域略図		" 明1781-126
108	" 27. 8 (1894)	秩父郡荒川流域図		" 明1781-103
109	" 32. 9 (1899)	渡瀬川台帳(渡瀬川・利根川・権現堂川河川台帳)		" 明5821
110	" 32.11 (1899)	埼玉県渡瀬川平面図(河川台帳付図)	北川辺町	歴史資料A2001
111	大正11. 6 (1922)	河川台帳平面図及横断図雛形		行政文書大1302-20
112	" 12 (1923)	埼玉県管内地図(河川改修計画)		" 大1556-50
113		北足立郡河川台帳正本 第貳拾号	川口市	歴史資料A2003
114		" 第貳拾貳号	"	" A2003
115		" 第貳拾四号	"	" A2003
<水量・出水>				
116	明治23. 8 (1890)	妻沼村堤切救助施行ノ電文	妻沼町	行政文書明3700-23
117	" 24. 5 (1891)	水量看守任命状	庄和町	中川家 2005
118	" 25. 1 (1892)	水量標建設方法書		行政文書明1730-24
119	" 43. 8 (1910)	水位日表(荒川筋入間郡古谷村)明治43年 8月	川越市	" 明2727-16
120	大正 3. 9 (1914)	北河原村大字酒巻地内水量標建換出来形図	行田市	" 大482-727
121	" 7. 8 (1918)	高水要覧 大正七年八月		高野(周)家 79
<土木課田蔵洋書>				
122	明治29 (1896)	RIVERS AND CANALS(河川及運河)ハーフコート著		図書 A517-リ
123	大正 5 (1916)	BRIDGE ENGINEERING(橋梁工学)ワデル著		" A515-フ
124	" 9 (1920)	THE DESIGN OF HIGHWAY BRIDGES(道路橋梁設計)ケッヘム著		" A514-テ
4 公園の誕生				
125	明治 6. 1 (1873)	太政官布告 第16号(公園設置)		行政文書明61の1
126	" 7.12 (1874)	調神社境内借地ト定ル件達	浦和市	" 明1532-1
127	" 17. 4 (1884)	官幣大社氷川社引裂上地公園ト被定度伺	大宮市	" 明1532-24
128	" 17. 9 (1884)	大宮公園地所貸渡準則ノ件達	"	" 明1543-2
129	" 17.10 (1884)	大宮公園明細図	"	" 明1532-28
130	" 18.10 (1885)	大宮公園区画割図	"	" 明1543-6
131	" 31.10 (1897)	調神社境内全図(浦和公園)	浦和市	" 明2372-15
132	" 32.11 (1898)	氷川公園図面	大宮市	" 明2133-5
133	" 34. 8 (1901)	埼玉県大宮氷川公園案内	"	" 明2133-41
134	" 43. 7 (1910)	県下公園一覧(三省堂日本百科大辞典編纂所へ回答案)		" 明3198-14
135	大正10. 5 (1921)	埼玉県氷川公園改良計画図	大宮市	" 大1619-4-3
136	" 10. 9 (1921)	氷川公園図面	"	" 大1225-5
137	" 10. 9 (1921)	武州不動ヶ岡不動尊公園設定図	加須市	" 大1225-5
138	" 13. 4 (1924)	旧忍城址現地況図	行田市	" 大1670-5
5 近代建築点描				
<学 校>				
139	明治 7. 7 (1874)	埼玉県師範学校開学之儀ニ付文部省へ伺	浦和市	行政文書明1843-55
140	" 11 (1878)	埼玉県師範学校敷地建物位置図	"	" 明1700-30
141	" 35.12 (1902)	睦和尋常小学校校舎配置図	"	" 明3298-1
142	" 36. 1 (1903)	熊谷尋常小学校校舎配置図	熊谷市	" 明3298-18
143	大正 3 (1914)	埼玉県立師範学校新築工事設計図	浦和市	" 大446-33
144	" 11. 7 (1922)	埼玉県立松山中学校新築工事設計図	東松山市	" 大1321-25
145	" 13 (1924)	埼玉県立女子師範学校本校舎新築工事設計図	浦和市	" 大1560-10
<庁 舎>				
146	明治11.10 (1878)	秩父郡大宮郷警察署平面図	秩父市	行政文書明1727-15
147	" 12. 3 (1879)	北足立新座郡役所開庁布達	浦和市	" 明312-26
148	" 12. 8 (1879)	秩父郡役所新築図面	秩父市	" 明294-12
149	" 18.11 (1885)	児玉郡八幡山警察分署建築建図面	児玉町	" 明1727-4
150	" 21. 4 (1888)	北足立新座郡役所新築建差図	浦和市	" 明612-3
151	" 21. 9 (1888)	児玉賀美那珂郡役所平面図	本庄市	" 明612-6
152	" 24. 6 (1891)	県庁舎建築工事請負入札広告	浦和市	" 明1703-23

番号	年号 (西暦)	文 書 名	現市町村名	文 書 番 号
153	明治24. 11 (1891)	庁舎前地内樹木植替ノ図	浦和市	行政文書明1703-23
154	" 26. 3 (1893)	埼玉県地理 西村正三郎編		川鍋家 197
155	大正 2 (1913)	埼玉県会議事堂設計図	浦和市	行政文書大5825-218
156	" 8 (1919)	北足立郡役所改築工事建図	"	" 大1008-16
157	大正15. 5 (1926)	知事及各部長官舎図	"	" 大1803-4
<埼玉会館>				
158	大正13 (1924)	埼玉会館建設計画大綱・埼玉会館設立趣意書	浦和市	行政文書大1619-4-6
159	" 15 (1926)	埼玉会館本館設計図(正面図)	"	埼玉会館移籍4
160	" 15 (1926)	" (背面図・側面図)	"	" 5
161	" 15 (1926)	" (縦断面図・演壇正面図)	"	" 6
162	" 15 (1926)	埼玉会館本館正面詳細図	"	" 7
163	" 15 (1926)	" 別館	"	" 16
164	" 15 (1926)	" 別館玄関詳細図	"	" 17
165	" 15 (1926)	" 塔屋変更図	"	" 22
166	" 15 (1926)	" 表門詳細図	"	" 24
167	" 15 (1926)	" 本館及別館電灯詳細図	"	" 29
168	昭和16 (1941)	" 本館及別館設計図	"	行政文書4009
<諸建築>				
169	明治28. 3 (1895)	地方測候所設立之義ニ付内務省訓令		行政文書明1527-1
170	" 29. 12 (1896)	埼玉県測候所新築設計図	熊谷市	" 明2431-64
171	" 33. 9 (1900)	埼玉県監獄署敷地建物平面図	浦和市	" 明2161-18

※期間中、一部展示替します。

参考文献			
『埼玉県行政史』 第1巻	埼玉県		1989
『埼玉県行政史』 第2巻	埼玉県		1990
『埼玉県土木建築輯史』 巻2	埼玉県土木建築史編纂委員会		1979
『土木工学概論』 高橋裕・石綿知治・小寺重郎著	森北出版		1993
『日本道路史』	日本道路協会		1977
『さいたま橋物語』	埼玉県土木部道路建設課		1993
『日本の橋』 日本橋梁学会編	朝倉書店		1994
『荒川』 人文II (荒川総合調査報告書3)	埼玉県		1988
『中川水系』 人文 (中川水系総合調査報告書2)	埼玉県		1993
『大宮公園思い出の写真集』	埼玉県大宮公園事務所		1990
『埼玉県明治建造物緊急調査報告書』	埼玉県教育委員会		1979
『埼玉県大正建造物緊急調査報告書』	埼玉県教育委員会		1985
『埼玉会館50年誌』	埼玉会館		1976

表 紙：No.162 埼玉会館本館正面詳細図 埼玉会館移籍文書 7

裏表紙：No. 38 利根川浮橋架設願 明1751

文 書 館 利 用 案 内

- 開館時間／ 9：00～17：00
- 休 館 日／月曜日・国民の祝日・休日・毎月末日
年末年始（12月27日～1月5日）
特別整理期間（春秋10日間以内）
- 交通案内／ JR 京浜東北線・高崎線・宇都宮線：浦和駅西口下車徒歩12分
JR 埼京線：中浦和駅下車徒歩15分
国際興業バス：県庁裏下車（浦和駅↔大宮駅）徒歩0分

